

デジタルコードレス電話機

DC-PS5-A

取扱説明書

この説明書は、お読みになった後も大切に
保管してください。



IWATSU

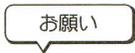
安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い直してください。

本文中のマークの説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 Note	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ちょっと一言！	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

危険

- 充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス [+] ・ マイナス [-] の向きが決められています。本電話機に接続するときは、プラス [+] ・ マイナス [-] の向きを確かめてください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 火の側や炎天下等の高温の場所で充電はしないでください。高温になると危険を防止する保護装置が働き充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。
- 同梱の電池パックはこの電話機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
 - 火の中に投入したり、加熱しない。
 - 直接はんだ付けしない。
 - プラス [+] ・ マイナス [-] を針金等の金属類で短絡しない。
 - 水、雨水、海水、薬品等につけたり、ぬらさない。
 - ネックレス等の金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの漏液、発熱、破壊により、火災、感電、やけど、けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。電話機の場合は直ちに充電をやめ電源ボタンを切り、充電器の場合は必ず電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門に至急ご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、電話機を落としたり、電話機や充電器を破損した場合、本電話機の場合は充電をやめて電源ボタンを切り、充電器の場合は必ず電源アダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 運航の安全に支障をきたす恐れがありますので、航空機の機内などでは使用しないでください。また、電源も入れないでください。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。
 - 電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。(ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、医療用電子機器など)
- 本商品の開口部やすきまから内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、電話機の場合は直ちに電源ボタンを切り、充電器の場合は直ちに電源アダプタをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 自動車などの運転中は、電話機を絶対に操作したり見たりしないでください。交通事故の原因となります。
- 電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。電池パックの発熱、破裂、発火等の原因になります。
- 引火性ガスが発生する場所では電話機を絶対に充電しないでください。火災の原因になります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、直ちに充電をやめて、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機、充電器および電源アダプタのそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- めれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- めれた手で充電器、電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。また重いものを乗せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、お買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご連絡ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 電話機を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店または岩崎通信機のサービス部門にご依頼ください。また改造は法律で禁止されています。(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。
- 電話機をねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは事故防止のため、小さいお子様の手の届かない所に保管してください。

注意

- 電話機および充電器のご使用にあたっては、次のことにご注意ください。
 - 初めてご使用になる場合や長時間使用されなかった場合は、必ず充電して異常のないことを確認してからお使いください。
 - 直射日光の当たるところ、自動車の中、暖房設備・ボイラーの側など著しく温度が高くなる場所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
 - 調理台のそばなどの油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
 - 電話機のアンテナは伸ばしたり縮めたりすることはできません。アンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

- 長時間で使用にならないときは、安全のため必ず充電器の電源アダプタをコンセントから抜いてください。また電話機の電源ボタンを切り、電池パックも取り出してください。
- 電話機および充電器と電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。本体やコードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ電源アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 充電器の上に指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したきは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 充電は周囲温度5℃～35℃の範囲で行ってください。正常な充電ができなかったり、故障の原因となることがあります。
- 十分充電しても使用できる時間が短くなった場合は電池パックの寿命の可能性がります。お買い求めの販売店に電池パックの交換をお申し付けください。

お願い

電波の特性について

- この電話機は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても電波の届かないところ、電波の弱いところでは通話ができないことがあります。
- 構内モードにおいては、周囲の環境（壁、家具、什器など）によっては使用範囲が狭くなります。特にサービスエリアの端のほうでは、体の向きを変えたり、周囲で人が移動しただけで電波状態が変わり通話ができたりすることがあります。
- 公衆モードにおいては、屋内、トンネル、地下、山間部など電波の届かないところでは通話できません。またビル内、ビルの陰などの電波の弱いところでは通話ができない場合があります。

お願い

- 通話中に電波の届かないところや電波の弱いところに移動した場合は、通話がとぎれたり切れたりすることがあります。
- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、電波が乱れて通話がとぎれたりすることがあります。

デジタル方式の特性について

- デジタル方式の特徴として、電波状態が悪いところであっても高品質な通話を保つことができますが、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通話がとぎれることがあります。あらかじめご了承ください。

盗聴について

- 従来のアナログ方式と比べて高い秘話性を有しておりますが、電波を使用している関係上、通常の手段を越える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

移動しながらのご利用について

- 高速で走る列車内や自動車などでは使用できません。通話するときはゆっくり歩くか、立ち止まってご使用ください。また、この電話機をご使用になるために、禁止されている場所での駐停車はおやめください。

他の機器への影響について

- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 電話機、ファクシミリなどに近いと通話に雑音が入ったりすることがあります。
- 補聴器などをしながらご使用になると、補聴器に雑音が入ることがあります。
- 自動車の車種によっては、まれに車輻電子機器に影響を与える場合があります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お願い

使用場所について

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。電話機が正常に動作しないことがあります。
- 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。
 - このようなところでは、出入り中は電源を切り、十分に時間がたってから電源を入れるようにしてください。
- 金属製家具などの近くは避けてください。
 - 電波が飛びにくくなります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、使用できないことがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなる場合があります。

周囲の環境について

- 電話機を設置するときは、基地局から約3m以上離してください。
 - 基地局にあまり近い場合は、本電話機が正常に動作しないことがあります。
- 操作をする前に電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、通話はなるべく電波の強い場所で行ってください。
 - 通話をしながら移動して使える場所でも、一旦電話を切ってからかけ直すときにつながらないことがあります。
- 使用中には充電器の電源アダプタをコンセントから抜いたままにしないでください。電話機が充電できません。

国外への持ち出しについて

- この電話機は日本国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出されてもご利用できません。
- この電話機は外国為替および外国貿易管理法に定める戦略物資に該当するため、日本国外へ輸出または持ち出す場合、同法に基づく輸出許可が必要になります。

お願い

防水機能について

- 電話機はJIS保護等級4(防沫形)相当の生活防水型ですが、完全防水ではありませんので、次のことにご注意ください。
 - 流水に当てないでください。
 - 水の中につけないでください。
 - 水滴がついたまま充電器に置かないでください。
 - 濡れたり水滴がついたりしたときは、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。

お手入れについて

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。電話機等の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 充電端子は、月に一度を目安に、乾いた布でからぶきしてください。また電話機を汚れやすいところに置かないでください。充電端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。
- 電話機を充電器に置いても充電ランプが点灯しなかったり、点滅表示するときには充電端子が汚れている可能性があります。このときは電話機と充電器の充電端子をよくからぶきしてください。

PHSサービスを利用して警察(110)、消防(119)にかけるときは…

- 立ち止まっておかけください。
 - 警察(110)、消防(119)にかけるときは、通話中にお話が途切れることがないように、立ち止まってご利用ください。
- 通話終了後に電源を切らないでください。
 - 警察(110)、消防(119)からの呼び出しができなくなります。
- PHSからの通話であることをお伝えください。
 - 警察(110)、消防(119)での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。
 - 詳しくは各PHS事業者にお問い合わせください。

目次

お客様へ、安全上のご注意	1
--------------	---

はじめに

各部の名前とはたらき	12
ディスプレイの見方	13

準備

こんなときはご利用になれません	14
お使いになる前に	15
電話機の電源を入れる	15
電話機を充電する	16
モードを設定する	18
電話番号を確認する	21
ファンクションボタンの機能を確認する	22
電池残量を確認する	22
電波の状態を確認する	22

構内モードについて

構内モードの基本的な使い方	23
外へ電話をかけるとき	23
・外線発信／グループ外線発信でかけるとき	23
外からの電話を受けるとき	25
・かかってきている外線の電話を受けるとき	25
・外からの電話が直接本電話機にかかっているとき	25
内部の人を呼び出すとき	26
・音または声によって呼び出すとき	26
・呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき	27
内部からの呼び出しを受けるとき	28
お待ちいただくとき、再びお話しをするとき	28
電話を他の人にまわすとき	29
構内モードのさらに便利な使い方	30
機能特番	30
待ち受け状態表示	30
局線・内線に共通な機能	31
・話中着信	31
・キャッチホン	32
・着信拒否	34
・不在転送／話中転送／未応答転送	35
・自動終話	38
・基地局切替	38
局線に関する機能	39
・局線会議通話	39
・フッキング	40
内線に関する機能	40
・一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し	40
・ミート・ミー応答	41

公衆モードについて

公衆モードの使い方	42
PHSサービスの利用	42
電話をかける	44
電話を受ける	45
通話の保留	45

トランシーバモードについて

トランシーバモードの使い方	46
トランシーバモードの番号を設定する	46
電話をかける	47
電話を受ける	48

さらに便利に使うには

各モード共通のさらに便利な使い方	49
受話音量を調節する	49
着信音量を調節する	50
電話帳ダイヤルでかける	51
・電話帳ダイヤルでかける	51
・電話帳ダイヤルの登録/変更/削除	53
前に電話をかけた相手に再び電話をかける	58
ワンタッチボタンでかける	59
・ワンタッチボタンで電話をかける	59
・電話番号の登録/変更	59
・登録した電話番号の削除	60
誤操作の防止(キーロック)	61
暗証番号の登録/変更	62
電話をかけられないようにする(ダイヤルロック)	64
電話帳を開けないようにする(電話帳ロック)	66
32Kデータ通信	68
いろいろな機能を設定する	69
・操作するときの音を消す(キータッチトーン)	70
・ダイヤルを押すだけで着信に応答する(エニーキー応答)	70
・サブアドレスを通知する	71
・システム手動選択	71
・自営圏外通知	72
・着信の種類毎に音をかえる	72
・公衆圏内通知	73
・公衆・電話番号通知	73
・公衆モード時ディスプレイ表示	74
・使用者名表示	74

ご参考に

(機能) ボタンによる操作一覧	75
登録ボタンでできる登録操作一覧	76
電池の残量がなくなったときは	78
通話できる範囲から外れたときは	79
故障かな?と思ったら	80
電話機から出る音について	82
主な仕様	84

1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 トランシーバモードについて

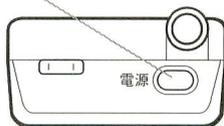
6 さらに便利に使うには

7 ご参考に

1 各部の名前とはたらき

●電源ボタン

電源を入り/切りするとき
に押します。電源を入れる
ときは、必ずピッと音がし
てディスプレイに表示がで
るまでボタンを押し続け
てください。電源を切るとき
は、ディスプレイの表示が
消えるまでボタンを押し
続けてください。



●ハンドストラップ 取付部

付属品のハンドストラップ
を取付けます。

●通話ボタン

電話をかけるときや、電話
を受けるときに押します。

●ダイヤルボタン

相手の電話番号をダイヤル
したり、機能操作を行うと
きに押します。

●ファンクション ボタン

設定を行うことにより、い
ろいろな機能を行うことが
できます。

●サウンド

呼出音や操作音、警報音が
出ます。ここを指などで塞
がないようご注意ください
い。

●アンテナ

●受話口

相手の声はここから聞
こえます。

●ディスプレイ (表示部)

ダイヤルモニタや、電
波の強さ、電池の残量
などを表示します。

●機能ボタン

ダイヤルボタンと組み
合わせて、いろいろな
操作を行うときに押し
ます。

●切ボタン

電話を切るときに押し
ます。

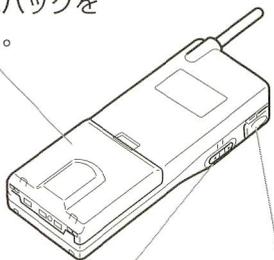
●送話口(マイク)

電話をするときは、こ
こに向かってお話しし
てください。



●電池パック

付属の電池パックを装着します。



●データコネクタ部

32Kデータ通信を行うときに使用します。



●音量ボタン

受話音量や呼出音量を上げたり下げたりするときに押します。

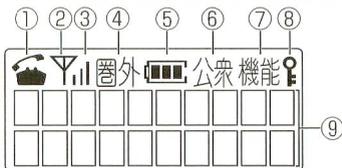
●アセンブリ・ジャック

オプションのアセンブリを接続するときに使用します。

●充電端子(底部)

付属の電池パックを充電するための端子です。ここにはできるだけ手を触れないようにご注意ください。

ディスプレイの見方



①電話マーク	早い点滅：基地局と制御信号のやりとりをしています。 遅い点滅：保留している相手があることを表します。 点灯：電話中であることを表します。
②アンテナマーク	消灯：基地局をさがしている最中であることを表します。 点灯：基地局と通信が可能なことを表します。(この状態で電話をかけたり受けたりできます。)
③電界強度マーク	基地局の電波の強さを4段階で表します。 電話をかけるときはできるだけバーが2本以上立っているところで操作してください。
④圏外マーク	基地局の圏外に出てしまったことを表します。
⑤電池マーク	電池残量の目安を3段階で表します。 電池中の表示が1つになったら、できるだけ充電するようにしてください。 電池残量警報状態になったときは電池の枠が点滅します。
⑥公衆マーク	公衆モードになっていることを表します。
⑦機能マーク	機能ボタンを使った操作を行っていることを表します。
⑧ロックマーク	ダイヤル操作等がロックされていることを表します。(キーロック、ダイヤルロック状態のとき点灯します)
⑨表示部	入力されたダイヤル番号や各種の状態を表示します。

Note



●本取扱説明書では■の中の表示は点滅状態を示します。

2 こんなときはご利用になれません

ディスプレイに圏外マークが表示されているとき

サービスエリア以外の場所や、サービスエリア内でも電波の弱い場所にいるために、電話をかけたり受けたりできません。

(対処方法) 圏外マークの表示が消えるように電波状態のよい場所まで移動してください。



ディスプレイに🔒マークが表示されているとき

誤操作を防止するキーロックか、発信を禁止するダイヤルロックが設定されています。

(対処方法) キーロックまたはダイヤルロックを解除してください。
(→61, 64ページ)



ディスプレイの📶マークが消えているとき

基地局をさがしている状態です。

(対処方法) 📶マークが点灯するまでお待ちください。



ディスプレイの🔋マークが点滅しているとき

電池がなくなりかけています。このとき、ピッピッ…という電池残量警報音も鳴ります。

(対処方法) 電話機を充電するか、充電が完了した電池パックに交換してください。

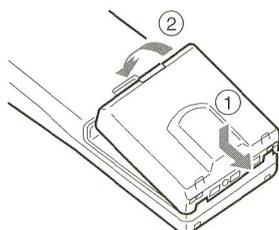


2 お使いになる前に

電話機の電源を入れる

1 電話機に添付の電池パックを装着します。

- 電池パックは下側を電話機にはめ込み、パチッと音がするまでしっかりと押してください。



お願い

- 電池パックはしっかりと装着してください。不十分だと使用中にはずれるおそれがあります。

2 電源 ボタンを1秒以上押します。



ちょっと一言!

- 電源を切るには電源  ボタンを1秒以上押します。



- ピッと音がしてディスプレイに表示がでます。



- ディスプレイの上段および下段に表示される文字は、工事で設定されたものです。

1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 トランシーバモードについて

6 さらに便利には

7 ご参考に

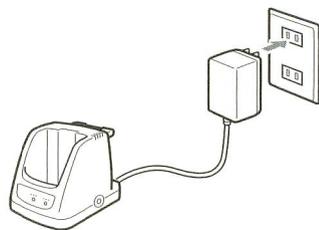
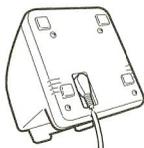
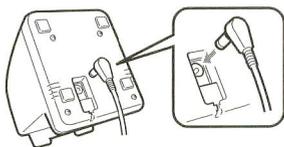
2 お使いになる前に

電話機を充電する

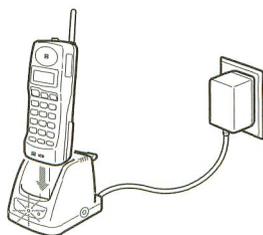
充電器はかならず専用の充電器(DC-PS1充電器またはWT-SV-CPBC充電器)をお使いください。

ここでは、DC-PS1充電器についてご説明します。なお、詳しくは機器添付の取扱説明書をご覧ください。WT-SV-CPBC充電器をご利用の場合は、機器添付の取扱説明書をご覧ください。

- 1 充電器用電源アダプタのプラグを充電器の電源アダプタコード差入口につなぎます。コードは充電器の溝にはめ込みます。
- 2 電源アダプタを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



- 3 電話機を充電器に置き3時間以上充電します。



Note



- 充電器の充電ランプは充電がほぼ終了すると緑色に変わります。
- 充電中は充電器や電話機があたたくくなりますが故障ではありません。
- 充電器は電池パック単体でも充電できます。詳しくは充電器に添付の取扱説明書をご覧ください。

お願い

- はじめてお使いのときや、長い間お使いにならなかったときは必ず3時間以上充電してください。
- 充電端子が汚れていたり異物がついていると、電話機を充電器に置いても充電ランプが点灯しないことがあります。充電端子はいつもきれいにしておいてください。
- 電話機および充電器がぬれているときは、必ず乾いた布などでふき取ってから充電してください。
- 充電は周囲の温度が10℃～40℃の間で行ってください。10℃以下や40℃以上のときは正しく充電できないことがあります。
- 充電が正しく行われていないと、充電器のランプが赤く点滅します。このときは電話機を充電器に正しく置き直してください。また電池が古くなったり壊れたりしているときにも赤く点滅します。このときは電池パックを交換してください。
- この電話機はニッケル水素電池を使用しています。この電池はくりかえして充電していると使える時間が短くなってきますので、動作時間が短くなってきたらリフレッシュを行ってください。リフレッシュの方法については充電器に添付の取扱説明書をご覧ください。

2 お使いになる前に

モードを設定する

お客様のご利用に合わせて次の4つの動作モードを切り替えてご使用いただけます。

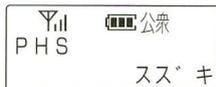
1 構内モード

- SAVAJU/DIGIXの内線デジタルコードレス電話機としてご使用になれます。



2 公衆モード

- PHS事業者とご契約いただくと、PHSサービスを受けることができます。



3 トランシーバモード

- 同一の主装置に登録されているデジタルコードレス電話機どうしで、基地局を介さずにトランシーバとしてご利用いただけます。



4 オートモード(PHSサービスご加入が必要です。)

- 構内で使える範囲(エリア)に入ると構内モードに、PHSサービスエリアに入ると公衆モードに自動的に切り替わります。
- PHSサービスエリア内でも構内で使える範囲にいる場合には構内モードとなります。

ちょっと一言!

- 構内モードの待ち受け中にディスプレイ上段に表示される文字、および各モードの待ち受け中にディスプレイの下段に表示される文字は、工事で設定できます。設定する内容についてはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 基本動作モードについて
 - 本電話機は、なにもしない電源を入れたときのモードが基本動作モードとして工事設定されます。
 - 通常のご利用で一番よく使うモードをお買い求めの販売店にお申しつけください。また、この基本動作モードを変更したい場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源をいれるときにモードを決めるには…

この電話機は、ダイヤルボタンを押しながら電源を入れることによって、基本動作モード以外のモードを選ぶことができます。

構内モードにするには

- 電源を切った状態から、**2** ボタンを押しながら電源  ボタンを約1秒間押し続けます。



公衆モードにするには

- 電源を切った状態から、**5** ボタンを押しながら電源  ボタンを約1秒間押しします。
- ただしPHS事業者とご契約をされていない電話機の場合は、ディスプレイに「E30……」と表示されて動作しません。このときは電源  ボタンを約1秒間押し続けて電源を切ってください。



トランシーバモードにするには

- 電源を切った状態から、**8** ボタンを押しながら電源  ボタンを約1秒間押し続けます。



オートモードにするには

- 電源を切った状態から、**0** ボタンを押しながら電源  ボタンを約1秒間押し続けます。

2 お使いになる前に

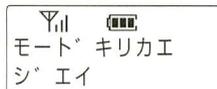
ご利用中に動作モードを変更するには…

構内では内線電話機としてご利用になっていて、外出先で公衆モードに変更するような場合、以下の手順でモードを変更します。以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

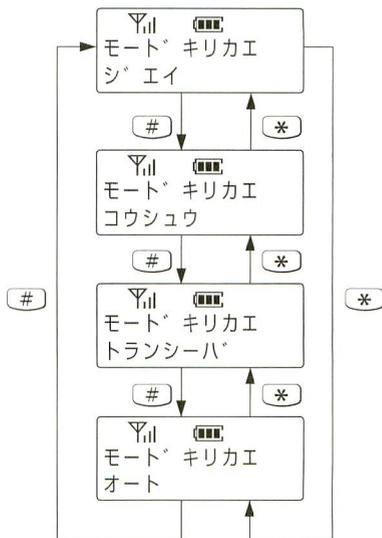
1 待ち受け状態で(切)ボタンを約2秒間押し続けます。

- 現在のモードが表示され、モードの切り替えが可能になります。

<例>構内モード



2 ご利用になるモードが表示されるまで、(*)ボタンまたは#ボタンを繰り返し押します。



3 (登録)ボタンを押します。

- ピピという確認音が鳴り、表示されているモードが設定されます。

Note

- 待ち受け状態とは、発信、着信、通話などの操作を行っていない状態のことです。このときディスプレイには、登録された文字や数字が表示されます。
- PHS事業者とのご契約をされていない場合は、構内モードとトランシーバモードのみの切り替えになります。

電話番号を確認する

登録された電話番号を表示します。

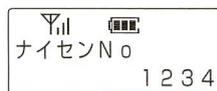
電話番号には、内線電話番号、PHS電話番号、トランシーバ番号の3つがあります。以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

- 1 待ち受け状態で、**(登録)** ボタンを繰り返し押し押しして「ジ バ ンゴ ウ」を表示させます。



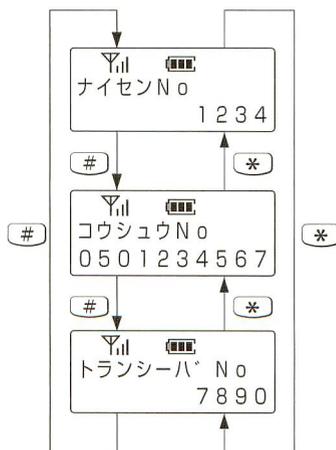
- 2 **(0)** ボタンを押します。

- ディスプレイに、その動作モードにおける電話番号が表示されます。



- 3 **(*)** ボタンまたは **(#)** ボタンで次のモードの電話番号を表示します。

- 表示は約5秒で元に戻ります。
- 登録されていないモードは表示しません。



Note

- PHS事業者とのご契約をされていない場合は、PHS電話番号はありません。
- トランシーバ番号を設定していない場合は、トランシーバ番号は表示されません。

2 お使いになる前に

ファンクションボタンの機能を確認する

待ち受け状態で(キー表示)ボタンに続けて表示したいファンクションボタンを押します。ディスプレイにそのファンクションボタンの機能が表示されます。

この場合、ファンクションボタンに[キー表示]の機能を設定することが必要です。

- 機能の表示は3秒間です。

電池残量を確認する

電池残量はディスプレイに表示されます。電池残量は目安の表示です。



十分残っています。



まだ使えます。



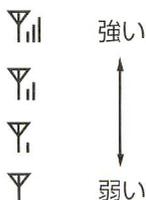
少なくなってきました。できるだけ早く充電してください。



ほとんど残っていません。充電して下さい。

電波の状態を確認する

電話をかけたり受けたりすることができる状態のとき、ディスプレイにYマークが表示され、4段階で基地局の電波の強さを表します。



- 電波の届かない場所(圏外)では、通話できません。
- 電波の弱い場所(Y)では、電話をかけたり受けたりできない場合があります。
- 電波の強い場所でも基地局などに登録動作を行っているために電話をかけたり受けたりできない場合があります。

3 構内モードの基本的な使い方

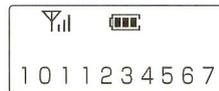
外へ電話をかけるとき

外線発信／グループ外線発信でかけるとき

1 外線発信の場合

待ち受け状態で、使用する外線アクセス番号(1～4桁)に続けて相手の番号をダイヤルします。

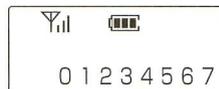
【例】外線アクセス番号が101で相手の電話番号が123-4567のとき



グループ外線発信の場合

待ち受け状態で、使用する外線グループ番号(1～4桁)に続けて相手の番号をダイヤルします。

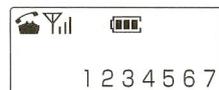
【例】外線グループ番号が0で相手の電話番号が123-4567のとき



2  ボタンを押します。



3 しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。



4 相手が応答すれば通話ができます。

5 通話が終了したら  ボタンを押します。

1 はじめに

2 準備

3 に構内モード

4 に公衆モード

5 モトランシーバ

6 にさらに便利

7 ご参考に

3 構内モードの基本的な使い方

Note



- 外線アクセス番号とは、外線と接続するための番号で、局番とは別に外線ごとに割り当てられます。
- 外線グループアクセス番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割り当てられる番号です。
- 待ち受け状態で(通話)ボタンを押し、内線ダイヤルトーンを聞いてから外線アクセス番号または外線グループアクセス番号に続けて相手の電話番号をダイヤルすることで電話をかけることもできます。
- 使用できる外線アクセス番号、外線グループアクセス番号は、あらかじめデータ設定されます。どのように設定されているかは、お買い求めの販売店におたずねください。
- 使用する外線(グループ内のすべての外線)が使用中の場合は、ツーツーという話中音が聞こえます。その場合は(切)ボタンを押しして一旦切ってから、少し待って再度ダイヤルしてください。
- 基地局のチャンネルがすべて使用中の場合は、ディスプレイに「チャンネルビジー」と表示され、ツーツーという話中音が聞こえます。その場合は(切)ボタンを押しして一旦切って少し待つか、ほかの基地局のサービスエリアに移動して再度ダイヤルしてください。

ちょっと一言!

- ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき
 - ・ダイヤル途中で電話番号を間違えたことに気がついたときには、(切)ボタンを押したあと、再度ダイヤルを入力してください。
- 10桁をこえるダイヤルを入力したとき
 - ・電話機のディスプレイで確認できるダイヤルの桁数は10桁までです。10桁を越えるダイヤルを入力した場合は、下の10桁だけを表示します。このときは、左のはしの桁が点滅し、10桁をこえていることを示します。

[さらに便利な使い方]

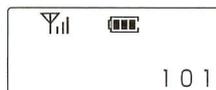
- 3者または4者で通話ができます。〈局線会議通話〉…(→39ページ)
- 以前に電話した相手に自動的にダイヤルできます。
 - 〈前に電話をかけた相手に再び電話をかける〉…(→58ページ)

外からの電話を受けるとき

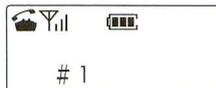
かかってきている外線の電話を受けるとき

- 1 電話がかかっている外線のアクセス番号をダイヤルします。

【例】アクセス番号101の外線に電話がかかっているとき



- 2 **通話** ボタンを押します。



- 3 通話ができます。

- 4 通話が終了したら **切** ボタンを押します。

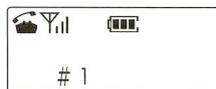
外からの電話が直接本電話機にかかっているとき(ダイヤルイン着信など)

- 1 外からの電話がかかってきて呼出音が鳴ります。

【例】1番目の外線から電話がかかっているとき



- 2 **通話** ボタンを押します。



- 3 通話ができます。

- 4 通話が終了したら **切** ボタンを押します。

[さらに便利な使い方]

- 通話中でも他からの呼出音を鳴らすことができます。〈話中着信〉…(→31ページ)
- 着信を指定した電話機に転送できます。〈不在転送/話中転送/未応答転送〉…(→35ページ)

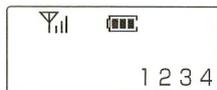
3 構内モードの基本的な使い方

内部の人を呼び出すとき

音または声によって呼び出すとき

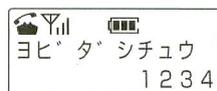
- 1 待ち受け状態で、相手の内線番号(1～4桁)をダイヤルします。

【例】 内線1234に電話するとき



- 2 **通話** ボタンを押します。

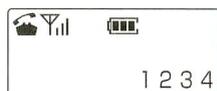
- 3 しばらくすると相手呼び出し音がかかります。



- 4 声で呼び出す場合は **#** ボタンを押します。

- ・送話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
- ・声での呼び出しは相手がボタン電話機の場合のみできます。

- 5 相手が応答すれば通話ができます。



- 6 通話が終了したら **切** ボタンを押します。

ちょっと一言!

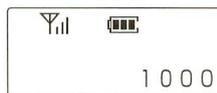
- 内線番号がどのように設定されているかは、お買い求めの販売店におたずねください。
- 他の内線電話機を音で呼び出すか、声で呼び出すかをあらかじめデータ設定することができます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

Note

- 基地局のチャネルがすべて使用中の場合は、電話をかけてもディスプレイに「コミアッテマス」と表示され、ツーツーという話中音が聞こえます。その場合は **切** ボタンを押して一旦切って少し待つか、ほかの基地局のサービスエリアに移動して再度かけ直してください。
- 相手がお話し中の場合は、ツーツーという話中音が聞こえます。その場合は **切** ボタンを押して一旦切り、しばらく待ってからかけ直してください。

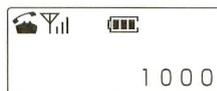
呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき

- 1 待ち受け状態で、相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。

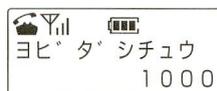


【例】相手の部署の内線グループ番号が1000のとき

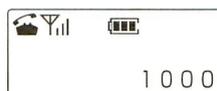
- 2 **通話** ボタンを押します。



- 3 しばらくすると相手呼び出し音がかかります。



- 4 相手が応答すれば、通話ができます。



- 5 通話が終了したら **切** ボタンを押します。

ちょっと一言!

- 内線グループごとの代表番号は、あらかじめデータ設定が必要です。お買い求めの販売店におたずねください。
- 内線グループは最大60グループ、1グループの電話機は最大32台です。

【さらに便利な使い方】

- 電話機、および外部スピーカを一齐に呼び出すことができます。＜一齐呼び出し＞…(→40ページ)
- グループ分けした電話機のみを一齐に呼び出すことができます。＜グループ呼び出し＞…(→40ページ)
- 外部スピーカを一齐に呼び出すことができます。＜ページング呼び出し＞…(→40ページ)

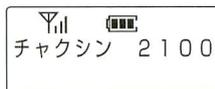
3 構内モードの基本的な使い方

内部からの呼び出しを受けるとき

- 1 電話がかかってきて呼び出し音がなります。

- ディスプレイには相手の内線番号も表示されます。

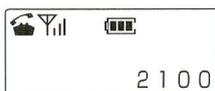
【例】内線2100番から電話がかかってきたとき



- 2 **通話** ボタンを押します。

- 3 通話ができます。

- 4 通話が終了したら **切** ボタンを押します。



[さらに便利な使い方]

- 忙しいときには着信を拒否できます。〈着信拒否〉…(→34ページ)
- 外部スピーカの呼び出しに応答できます。〈ミーティング・ミー応答〉…(→41ページ)
- 着信を指定した電話機に転送できます。〈不在転送/話中転送/未応答転送〉…(→35ページ)

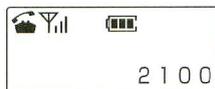
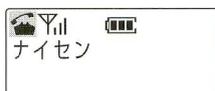
お待ちいただくとき、再びお話しをするとき

以下の操作を行うためにはファンクションボタンに[保留]の機能を設定することが必要です。

- 1 **保留** ボタンを押します。

- 相手には保留音が流れます。
- 自分の受話口からは内線ダイヤルトーンが聞こえます。

- 2 もう一度 **保留** ボタンを押せば、通話ができます。



Note

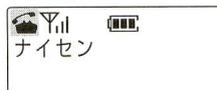
- **保留** ボタンを押して保留したままでしばらくすると、ディスプレイの  マークが点滅したまま待ち受け状態に戻ります。このときは再度 **保留** ボタンを押してから **通話** ボタンを押してください。再び通話ができるようになります。ただし、ディスプレイが内線表示でワーニングトーンが聞こえるときは、一旦 **切** ボタンを押して通話を切ってください。その後同じように **保留** ボタンを押してから **通話** ボタンを押してください。
- 保留した電話は他の電話機でとることはできません。

電話を他の人にまわすとき

以下の操作を行うためにはファンクションボタンに[転送]の機能を設定することが必要です。

1 (転送) ボタンを押します。

- 通話中の相手には保留音が流れます。
- 自分の受話口からは内線ダイヤルトーンが聞こえます。



2 通話をまわしたい人の内線番号をダイヤルします。

【例】内線2200番の人にまわしたいとき

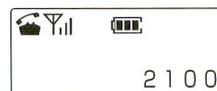
- 規定の桁の番号をダイヤルするだけで相手を呼び出します(通話)ボタンは押す必要がありません。
- 番号を間違えたときは(転送)ボタンを押して一旦元の相手との通話に戻り、1の操作からやり直してください。



3 まわしたい人が電話にでたら、転送する旨を伝えて(切)ボタンを押します。

- 通話が切れて待ち受け状態に戻ります。
- 電話は転送されます。

4 まわしたい人が話し中などでつながないときは、(転送)ボタンを押すと元の人との通話に戻れます。



Note

- (転送) ボタンを押して電話をまわしたい人のダイヤルをしないでいると、ディスプレイに「リコール」と表示され、呼出音になります。このときは(通話)ボタンを押してください。元の人と再び通話ができるようになります。

3 構内モードのさらに便利な使い方

機能特番

(システム機能) + 「特番」の操作で、機能キーが割り付けられていないときでもシステムのいろいろな機能をご利用になれます。

この場合ファンクションボタンに、[システム機能]の機能を設定することが必要です。この電話機でご利用になれる機能特番は以下の通りです。

特番	機 能	特番	機 能
1 1	フラッシュ	3 4	パーク応答
1 2	ショートフラッシュ	4 1	タイムコール
1 3	ダイヤルリバース (PBダイヤル)	4 2	モーニングコール
1 4	秘話解除	4 3	内線コールバック (呼返し)
2 1	セーブナンバリダイヤル	4 4	電話機パスワード
2 2	メモダイヤル	4 5	音声案内 (伝言再生)
2 3	トランクキューイング (局線予約)	9 9	自内線番号表示
2 4	タイムドトランクキューイング (局線時間予約)	# 9	キー案内
3 1	グループ内代理応答		
3 2	グループ外代理応答		
3 3	個別代理応答		

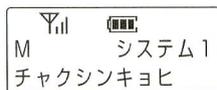
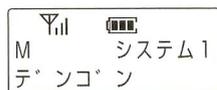
待ち受け状態表示

この電話機は、構内モードでの各種待ち受け状態をディスプレイに表示します。

メッセージ表示…[M]

- メッセージウェイト、着信拒否、不在転送が設定されていることを示します。
- 表示内容はファンクションボタンに[メッセージ読出し]機能を設定することにより確認できます。

- **メッセージ読出** ボタンを押すとメッセージ表示の詳細内容が表示されます。



Note



- **メッセージ読出** ボタンは電話機の工事でデータ設定されます。

局線・内線に共通な機能

話中着信

通話中に他の電話機から呼び出しがあると着信音を鳴らすことができます。

- 1 通話中に他の電話機からの呼び出しがあると、ププという小さな着信音が受話口から聞こえます。

- 内線電話機からの呼び出しの場合には、ディスプレイに相手の内線番号が表示されます。

【例】通話中に内線2100の電話機から呼び出しがあったとき



- 局線からの呼び出しの場合には呼び出された局線番号が表示されます。

【例】通話中に1番の局線に呼び出しが入ったとき



- 2 通話中の電話を **切** ボタンを押して終わらせると、後からかかってきた電話の着信音が鳴りますので、再度 **通話** ボタンを押して応答してください。

ちよっと一言!

- 通話中の通話を中断して、後からかかってきた電話に応答することもできます。
<キャッチホン>…(→32ページ)
- この機能は主装置のデータ設定が必要です。

3 構内モードのさらに便利な使い方

キャッチホン

通話中にかかってきた電話にキャッチホンで応答できます。

以下の操作を行うためにはファンクションボタンに[キャッチ]の機能を設定することが必要です。

1 通話中に他の電話機からの呼び出しがあると、プププという小さな着信音が受話口から聞こえます。

- ・内線電話機からの呼び出しの場合には、ディスプレイに相手の内線番号が表示されます。

【例】通話中に内線2100の電話機から呼び出しがあったとき



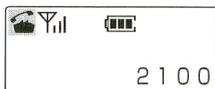
- ・局線からの呼び出しの場合には、呼び出された局線番号が表示されます。

【例】通話中に1番の局線に呼び出しが入ったとき



2 (キャッチ) ボタンを押すと後からかかってきた電話に出ることができます。

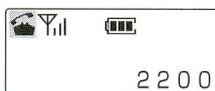
- ・それまで通話していた相手には保留音が流れます。



3 再度(キャッチ) ボタンを押すと前に通話していた相手との通話に戻ります。

- ・後から電話をかけてきた方には保留音が流れます。

【例】先に通話していたのが内線2200番の方だったとき



4 (キャッチ) ボタンを押すたびに通話する相手を替えることができます。

ちよつと言!

- 通話を終わらせるときには(切)ボタンを押してください。
- しばらくすると着信音が鳴り、ディスプレイに「リコール」と表示されます。ここで(通話)ボタンを押すと保留していた方との通話に戻ります。
- 通話していた方から先に電話を切ったときは、プープという音がしてから自動的に保留していた方との通話に戻ります。

Note



- キャッチホン通話中に3人目の方からの電話がかかってきても、これに応答することはできません。
- キャッチホン通話中に3人目の方から電話がかかると、プープという小さな着信音が受話口から聞こえます。ここで(キャッチ)ボタンを押してキャッチホンに应答しても、2人目の方との通話に戻るだけで3人目の方と、通話することはできません。
- 3人目の方と通話をしたいときは(切)ボタンを押して現在の方との通話を終わらせ、着信音が鳴ったら(通話)ボタンで应答してから(キャッチ)ボタンを押してください。

3 構内モードのさらに便利な使い方

着信拒否

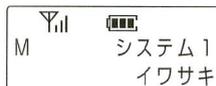
会議中などで電話がかかってきても出られない場合に、一時的に着信を拒否することができます。

以下の操作を行うためには、ファンクションボタンに[DND] (着信拒否)の機能を設定することが必要です。

着信拒否の設定

1 (DND) (着信拒否) ボタンを押します。

- ピピという確認音が鳴り、しばらくして待ち受け状態に戻ります。



着信拒否を解除するとき

1 (DND) ボタンを押します。

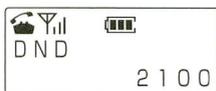
- ピピという確認音が鳴り、しばらくして待ち受け状態に戻ります。



ちょっと一言!

- 着信拒否を設定している電話機に電話をすると、ディスプレイに着信拒否を設定している表示が出ます。

【例】着信拒否を設定してある内線2100番の電話機に電話をかけたとき



- 自分の電話機に着信拒否が設定されているかどうかは (メッセージ読出) ボタンを押して確認できます。 <待ち受け状態表示>… (→30ページ)
- 着信拒否の設定は電源を切っても解除されません。

不在転送／話中転送／未応答転送

この電話機への呼び出しがあっても、そのまま他の内線電話機に転送することができます。

転送モードには不在転送、話中転送、未応答転送の3種類があります。

以下の操作を行うためには、ファンクションボタンに[不在転送]の機能を設定することが必要です。

●不在転送

転送先の電話番号を登録することにより、かかってきた電話を、着信音を鳴らさずにそのまま他の内線電話機に転送することができます。

●話中転送

転送先の電話番号を登録することにより、通話中のときにかかってきた電話を他の内線電話機に転送することができます。

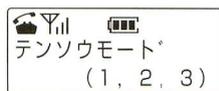
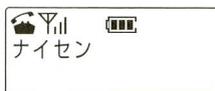
●未応答転送

転送先の電話番号を登録することにより、かかってきた電話に一定時間たっても応答しないときは、その電話を他の内線電話機に転送することができます。

転送モードの選択（転送モード切替）

転送モード切替により、不在転送／話中転送／未応答転送のどれか1つを選択することができます。

- 1 待ち受け中に **通話** ボタンを押します。
 - 受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 2 **不在転送** ボタンに続けて **#** ボタンを2回押します。



3 構内モードのさらに便利な使い方

3 転送モードを選択して数字で入れます。

- 不在転送は(1) ボタンを、話中転送は(2) ボタンを、未応答転送は(3) ボタンを押します。

【例】不在転送を選んだとき



【例】話中転送を選んだとき



【例】未応答転送を選んだとき

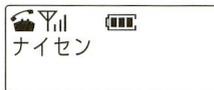


- ピピピという確認音が鳴り、選択された転送モードが設定されます。

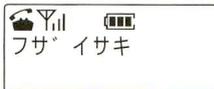
4 (切) ボタンを押して待ち受け状態に戻ります。

転送先の内線電話番号の登録・変更

- 1 待ち受け中に**通話**ボタンを押します。
 ・受話口から内線ダイヤルトーンが聞こえます。

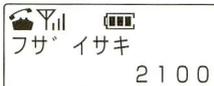


- 2 **不在転送**ボタンを押します。
 ・あらかじめ選択されている転送モードによってディスプレイの表示は以下のようになります。



「不在転送」の場合は「フザイサキ」
 「話中転送」の場合は「ワチュウサキ」
 「未応答転送」の場合は「ミオウトウサキ」

- 3 転送先の内線電話番号(1~4桁)をダイヤルします。



【例】転送先に内線2100番を登録するとき

- ・ピピピという確認音が鳴り、あらかじめ選択されているモード状態になります。

- 4 **切**ボタンを押して待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

- 転送状態の起動／解除は**不在転送**ボタンを押すごとに切り替わります。

3 構内モードのさらに便利な使い方

不在転送／話中転送／未応答転送の解除（転送先の取り消し）

不在転送／話中転送／未応答転送が設定されているときに

1 待ち受け中に **通話** ボタンを押します。



2 **不在転送** ボタンを押します。

3 ***** ボタンを押します。

・ピピピという確認音が鳴ります。



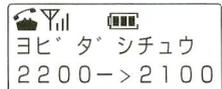
4 **切** ボタンを押して待ち受け状態に戻ります。

ちよつと一言!

●不在転送／話中転送／未応答転送をするように設定されている内線電話機に電話をかけたときには、転送されたことが表示されます。

【例】内線2100番に不在転送が設定されている

内線2200番に電話をかけたとき



●不在転送／話中転送／未応答転送の設定は電源を切っても解除されません。

自動終話

通常、相手が電話を切ったあとに **切** ボタンを押すことで待ち受け状態に戻りますが、設定により自動的に待ち受け状態に戻ることができます。

この機能は電話機の工事でデータ設定されます。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

基地局切替

通話中に途切れが発生した場合などに、**ゾーン** ボタンを押すことにより、電波環境のよい基地局に接続を切替えることができます。この機能を利用するには、ファンクションボタンに「ゾーン」の機能を設定することが必要です。

局線に関する機能

局線会議通話

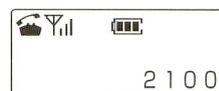
局線と通話中に他の内線電話機を呼び出して3者または4者で通話できます。以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[転送]の機能と[会議]の機能をそれぞれ設定することが必要です。

1 局線と通話中に **転送** ボタンを押します。

- ・内線ダイヤルトーンが聞こえます。



2 会議に参加させたい方の内線番号をダイヤルします。



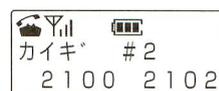
3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。

4 **会議** ボタンを押します。

- ・会議通話になるとブーというお知らせ音が聞こえます。
- ・この状態でさらに1から4の操作を行うと4者での会議ができます。



- ・ディスプレイの上段右側には局線の番号が表示されます。ディスプレイ下段の左側および右側には会議に参加している人の内線番号が表示されます。



【例】自分と局線2番、内線2100番、内線2102番の人の4者で会議をしているとき

3 構内モードのさらに便利な使い方

フッキング

局線や上位交換機にフッキングを送出することができます。

局線の場合はNTTのキャッチホンサービスなどを受けることができます。また、上位交換機のサービス機能を利用することもできます。この機能を利用するにはファンクションボタンに[フック]の機能を設定することが必要です。

通話中に(フック)ボタンを短かく押す(1秒以下)と局線には短いフッキングを送出します。また2秒以上押すと局線には長いフッキングを送出します。

ちょっと一言!

- フッキングを送出することにより利用できるサービスについてはお買い求めの販売店におたずねください。
- (フック)ボタンを押す時間で長いフッキングを出すか短いフッキングを出すかを切り替えられますが、この切り替え時間についてはデータ設定で変更することができます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

内線に関する機能

一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し

ボタン電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。

- 1 待ち受け状態で(通話)ボタンを押します。
 - ・内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- 2 該当する特番をダイヤルします。
 - ・電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す場合は「一斉呼び出し特番」をダイヤルします。
 - ・グループ分けした電話機を一斉に呼び出す場合は「グループ呼び出し特番」をダイヤルします。
 - ・外部スピーカを呼び出す場合は「ページング呼び出し特番」をダイヤルします。
- 3 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。
- 4 呼び出された方はミー・ミー応答により応答することができます。

ちよつと言!

- 各呼び出しの対象となるボタン電話機と外部スピーカはあらかじめデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。
- グループ呼び出しの対象として登録できるボタン電話機は、最大30グループ、1グループあたり最大64台です。
- ページング呼び出しの対象として登録できる外部スピーカは、最大30グループ、1グループあたり最大64台です。
- 一斉呼び出し特番／グループ呼び出し特番／ページング呼び出し特番はあらかじめ主装置のデータ設定が必要です。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

ミーと・ミー応答

外部スピーカの呼び出しに応答できます。

1 待ち受け状態で外部スピーカから呼ばれたら、**通話**ボタンを押します。

- ・内線ダイヤルトーンが聞こえます。

2 「ミーと・ミー応答特番」をダイヤルします。

- ・呼び出し元の電話機とつながります。

3 お話しができます。

ちよつと言!

- 待ち受け状態で「ミーと・ミー応答特番」をダイヤルしてから**通話**ボタンを押して呼び出しに応答することもできます。
- ミーと・ミー応答機能は、一斉呼び出し、ページング呼び出しに反応するためのものです。使用する電話機はあらかじめどの呼び出しに反応するかをデータ設定しておく必要があります。
- 「ミーと・ミー応答特番」は、あらかじめデータ設定が必要です。どのように設定されているかはお買い求めの販売店におたずねください。

4 公衆モードの使い方

この電話機は、公衆モードに切り替えることによりPHS(簡易型携帯電話)サービスをご利用になれます。PHSサービスをご利用になるには、PHS事業者と加入契約が必要です。

- PHSの加入契約は電話機ごとに必要です。契約の方法については、お買い求めの販売店におたずねください。

PHSサービスの利用

PHSサービスに加入すると、この電話機を屋外に持ち出して携帯電話のように電話をかけたり、受けたりすることができます。PHSサービスに加入すると、別途基本料金とPHSサービスの利用分の通話料金がかかります。

PHSサービスは、公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくはPHS事業者等へお問い合わせください。

PHSサービスを利用するモード

PHSサービスを利用するときはモードを「公衆モード」または「オートモード」に切り替えます。

- オートモードでお使いの場合は、公衆モードでお使いのときと比べて、電池の使用可能時間が短くなります。

PHSサービスを利用して警察(110)、消防(119)にかけるときは

- **立ち止まっておかけください。**
警察(110)、消防(119)へかけるときは、通話中にお話かとぎれることがないよう、立ち止まってご利用ください。
- **通話終了後に電源を切らないでください。**
警察(110)、消防(119)からの呼出ができなくなります。
- **PHSからの通話であることをお伝えください。**
警察(110)、消防(119)での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。
詳細は各PHS事業者にお問い合わせください。

PHSサービスで利用できる機能

電話帳ダイヤルで電話をかける。

構内モードのときと同じように利用できます。

再ダイヤルができる。

5件まで相手の方の電話番号を記憶できます。

相手の方に待っていただく。

相手の方にはピピという音がながれ、こちらの声は聞こえなくなります。

公衆モードを表示する。

- 公衆モードであることを、あらかじめ設定した文字や数字によってディスプレイに表示できます。
- PHSサービスエリア内に入ったことを音で通知します。

電話をかけるとき、お客さまご自身のPHSサービスの電話番号を相手の方のPHS電話機等に通知する。

この電話機には、自分の電話番号をかけた相手方の電話機等のディスプレイに表示させる機能があります。

ISDN端末等にサブアドレスを送る。

<サブアドレスとは…>

ISDN端末はふつうの電話番号に加えて端末独自の番号があります。この番号をサブアドレスといい、電話番号とサブアドレスをダイヤルすることで目的の端末だけを呼び出すことができます。公衆モードで電話をかける場合、この機能を利用することができます。

Note



- 電話番号を通知するには電話番号通知を設定する必要があります。
- PHSサービスエリア内に入ったことを知らせるためには設定操作が必要です。
- ISDN端末等にサブアドレスを送るためには設定操作が必要です。

4 公衆モードの使い方

電話をかける

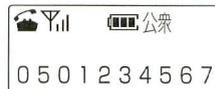
- 1 待ち受け状態で、相手の電話番号を市外局番からダイヤルします。

・電話番号が表示されます。



- 2 **通話** ボタンを押します。

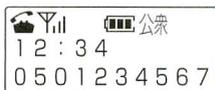
・表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 3 しばらくすると相手呼び出ししている音が聞こえます。



- 4 相手が応答すれば通話ができます。



- 5 通話が終わったら、**切** ボタンを押してください。

ちょっと一言!

- 待ち受け状態で**通話**ボタンを押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。
- ISDN端末にサブアドレスを送るには、電話番号とサブアドレスの間に**(*)**をダイヤルします。
ISDN端末にサブアドレスを送るためには、ISDNサブアドレスを設定してください。
<サブアドレスとは…>…(→43ページ)
- 通話中にダイヤルを押すと、プッシュホンサービスをご利用になれます。

Note

- 自動車電話・携帯電話とは異なりますので、自動車などで高速移動中には使用できません。
- かける相手の方が市内であっても、市外局番からダイヤルしてください。

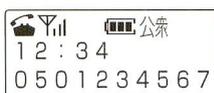
電話を受ける

1 待ち受け状態で電話がかかってくると、着信音が鳴ります。

- 相手の方がPHS電話機などで電話番号通知が設定されていると、相手の電話番号が表示されます。



2 通話ボタンを押します。



3 電話をかけてきた相手と通話できます。

Note



- この電話機のモードが異なっていたり電源を切っていると、電話がかかってきても受けられません。

通話の保留

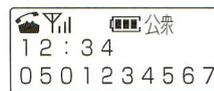
以下の操作を行うためにはファンクションボタンに[保留]の機能を設定することが必要です。

1 通話中に保留ボタンを押します。

- 相手の方にはピピピという音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。



2 通話に戻るには保留ボタンまたは通話ボタンを押します。



Note



- 公衆モードで保留中に切ボタンを押すと通話が切れてしまいますのでご注意ください。

5 トランシーバモードの使い方

トランシーバモードでは、同一の主装置に収容されているデジタルコードレス電話機どうしで、基地局や主装置を介さないで通話ができます。

例えば、基地局の電波の届かないサービスエリア外であるとか、サービスエリア内でも基地局の無線チャンネルが一杯で普通には通話のできない場合にも、電話機どうしで通話をすることができます。

Note

- トランシーバモードで通話ができるのは2台ずつ1組です。同時に3人で会議通話のようなことはできません。
- トランシーバモードで通話をしている組が多い場合には、無線チャンネルが一杯で新たな通話ができない場合もあります。
- トランシーバモードで通話ができるのは、半径約100mの範囲です。ただし間に障害物などがある場合など、周囲の状況によってはもっと短くなることがあります。
- 通話中、約3分ごとに約3秒間通話が途切れますが異常ではありません。通話が途切れる約20秒前にブーという予告音が受話口から聞こえます。また通話が途切れている間は、プブ...プブ...という音が受話口から聞こえます。
- 電波状態の悪いところでお使いの場合は、まれに通話が切れてしまうことがあります。このときは再度呼び出してください。

トランシーバモードの番号を設定する

トランシーバモードの電話番号として、1桁から4桁の数字で1から7999までのどれか1つをこの電話機で設定することができます(8000から9999までの数字は使えません)。以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

- 1 待ち受け状態で **登録** ボタンを繰り返し押し、**「トランシーバ No」**を表示させます。

・そのままにしておくと約30秒で待ち受け状態に戻ります。



- 2 **0** ボタンを押します。



- 3 設定したいトランシーバモードの電話番号をダイヤルします。

・必ず1から7999までの数字を入れてください。
【例】1234の番号を設定するとき



4 **登録** ボタンを押します。

- 正常に設定されたときはピピという音がして待ち受け状態に戻ります。
- 8000以上の番号を入れるなど正常に設定できなかったときには、ピピピピピという音がして待ち受け状態に戻ります。このときは手順1から操作をやり直してください。



トランシーバ No
トウロクシマシタ

ちょっと一言!

- 設定されたトランシーバモードの電話番号は<電話番号の確認>(→21ページ)で確認できます。

Note



- **登録** ボタンを押して表示する内容はデータ設定で変更できます。
<いろいろな機能を設定する>…(→69ページ)
- 2つ以上の電話機に同じ番号を設定すると正常に呼び出しできないことがあります。絶対に同じ番号を設定しないでください。
- トランシーバモードでお互いに通話できるのは、同一の主装置に登録された電話機どうしに限ります。また、同一の主装置に接続されていても弊社製の電話機以外の電話機とは通話できません。

電話をかける

1 待ち受け状態から、相手のトランシーバモードの電話番号をダイヤルします。

【例】1200番の人に電話するとき



トランシーバ
イワサキ



1200

2 **通話** ボタンを押します。



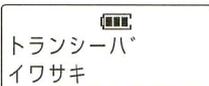

1200

3 しばらくすると受話口から呼出音が聞こえます。

- 相手に着信音が鳴ると、こちらに呼出音が聞こえます。

5 トランシーバモードの使い方

- 4 相手が応答すれば通話ができます。
- 5 通話が終わったら  ボタンを押して切ってください。



Note



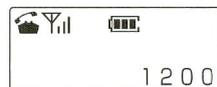
- 待ち受け状態で  ボタンを押してから相手の電話番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

電話を受ける

- 1 相手から呼び出しを受けると、着信音がなります。
【例】1200番の人から電話がかかってきたとき



- 2  ボタンを押します。



- 3 相手と通話ができます。
- 4 通話が終わったら  ボタンを押して切ってください。

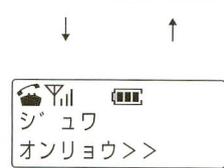
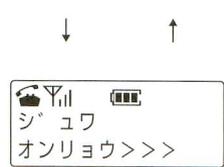
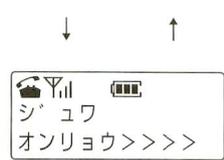
6 各モード共通のさらに便利な使い方

受話音量を調節する

電話をしている間に相手の声の大きさを5段階に調節できます。電源を切っても前のレベルは保持されます。

- 1 電話をしている間に、音量ボタンの▲
または▼を押します。
- 2 ▲ボタンを押すと↑の方向で、
▼ボタンを押すと↓の方向で
順番に受話音量が変わります。
- 3 お好みのレベルに調節したあと、
約3秒で元の表示に戻ります。

音量大



音量小

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーバ

6 さらに便利

7 参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

着信音量を調節する

電話がかかってきたときに鳴る着信音の大きさを3段階に調節できます。また、着信音を鳴らないようにすることもできます。電源を切っても前のレベルは保持されます。

1 待ち受け状態、または着信中に音量ボタンの \triangle または ∇ を押します。

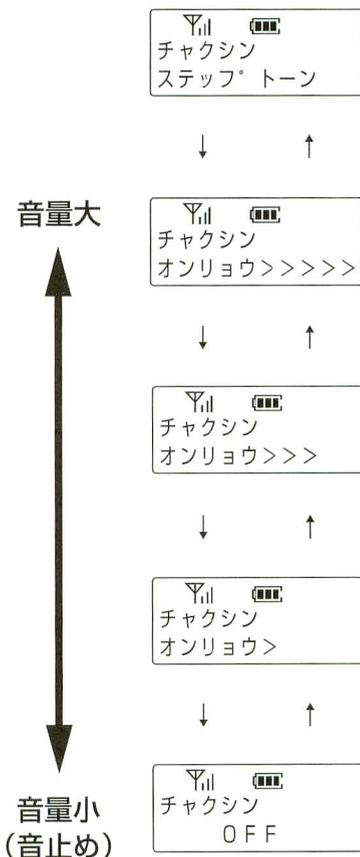
2 \triangle ボタンを押すと \uparrow の方向で、 ∇ ボタンを押すと \downarrow の方向で順番に着信音の音量が変わります。

- 音量小の状態から ∇ ボタンを約2秒間押し続けると、着信音を鳴らないように設定できます。
- 音量大の状態から \triangle ボタンを約2秒間押し続けると、着信音が小 \rightarrow 中 \rightarrow 大と順次増大します。(ステップトーン)

3 お好みのレベルに調節したあと、約3秒で元の表示に戻ります。

ちよっと一言!

- 音量ボタンはサイクリック設定 (\curvearrowright 小 \rightarrow 中 \rightarrow 大 \rightarrow ステップトーン \curvearrowright または \curvearrowleft 大 \rightarrow 中 \rightarrow 小 \rightarrow ステップトーン \curvearrowleft) ができます。2秒間押し続けると着信音停止となり、それに続き \triangle ボタンを押すと音量小となり、 ∇ ボタンを押すとステップトーンになります。



電話帳ダイヤルでかける

以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[電話帳]、[登録]および[保留]の機能をそれぞれ設定することが必要です。

電話帳ダイヤルでかける

電話帳には100カ所の電話番号が登録できます。50音順、先頭文字または電話帳番号順のいずれかで登録された電話番号を検索した後、電話をかけることができます。

1 電話帳から発信する電話番号を検索します。

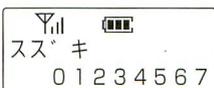
50音順検索の場合

- 待ち受け状態から(電話帳) ボタンに続けて(*) ボタンか(#) ボタンを押します。
 - ディスプレイに登録されている電話帳ダイヤル番号が表示されます。
 - 目的の電話帳ダイヤルが見つかるまで、(*) ボタンか(#) ボタンを押します。
- 検索順序は次の通りです。
数字(空白、-、0、・・・、9)→英字(A、・・・、a、・・・、z)→カナ(ヨ、ア、・・・、ア、・・・)



先頭文字検索の場合

- 待ち受け状態から(電話帳) ボタンに続けて先頭文字を入力します。
- (*) ボタンか(#) ボタンを押します。



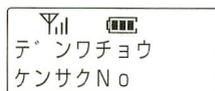
6 各モード共通のさらに便利な使い方

電話帳番号検索の場合

1. 待ち受け状態から(電話帳)ボタンを続けて2回押します。

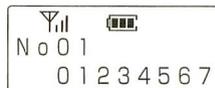


2. 電話帳番号(00~99)を2桁の数字でダイヤルします。

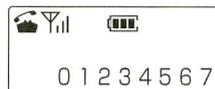


- 2 (通話)ボタンを押します。

- 表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 3 しばらくすると相手を呼び出している音が聞こえます。



- 4 相手が応答すれば、通話ができます。

Note



- 名前のみ登録されている内容を読み出した状態で(通話)ボタンを押しても操作は無視されます。

ちょっと一言!

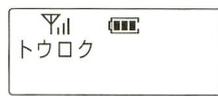
- どの検索方法の場合でも、検索中に(*)ボタンか(#)ボタンを2秒以上押し続けると、押ししている間はディスプレイの表示がスクロールします。

電話帳ダイヤルの登録／変更／削除

電話帳には100カ所の電話番号が登録できます。1件あたり、名前10文字、ダイヤル20桁まで入力することができます。登録方法には、電話帳番号を指定して行う電話帳番号指定登録と、未登録のもっとも小さい番号を自動的に指定する電話帳番号無指定登録とがあります。

電話帳ダイヤルの登録

1 待ち受け状態から(登録)ボタンに続けて(電話帳)ボタンを押します。



2 電話帳番号を指定して登録する場合は、登録したい電話帳番号(00~99)をダイヤルします。



• 電話帳番号を指定しないで登録する場合は(電話帳)ボタンを押します。



3 登録する相手の名前を入力します。カナ文字／英数字の入力モードは(保留)ボタンを押すたびに切り替えることができます。上段右側には、カナ文字モードのとき[ア]が表示され、英数字モードのとき[A]が表示されます。



4 (電話帳)ボタンに続けて登録する相手の電話番号を入力します。



• 名前の入力を再度行いたいときは(電話帳)ボタンを押してください。

• 再ダイヤルとして登録されている電話番号を登録するときは(再送)ボタンを押してから(＊)ボタンか(＃)ボタンで登録したい電話番号を選択してください。この場合、ファンクションボタンに[再送]の機能を設定することが必要です。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

5 (登録) ボタンを押します。

- ・ピピという音がして内容が登録され、約2秒後に待ち受け状態に戻ります。

〒111 トウロクシマシタ
ノコリ 99ケン

Note



- PBXなどの交換機に接続した外線に発信するときは、電話番号の前に外線発信番号とポーズの入力が必要となる場合があります。

ちょっと一言!

- 電話帳番号の入力を間違えたときは、(機能) ボタンを2秒間押し続けてください。また、名前入力途中で間違えたときは、(*) ボタンを押して、カーソルを修正する桁まで戻し、再度入力することができます。名前およびダイヤル入力の途中でクリア(機能) ボタンを2秒以上押し続けると、全桁をクリアすることができます
- 電話帳ダイヤルにはポーズも登録することができます。
 1. ポーズの登録は、(保留) ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1~9)で入力します。ただし、先頭にポーズを登録しても無効となります。
 2. ポーズ時間は1つのポーズで1~9秒です。それ以上のポーズ時間を必要とするときは続けて複数のポーズを登録してください。
 3. ポーズは1つでダイヤル2桁分に数えます。
- 電話帳には名前およびダイヤルのどちらか一方だけでも登録することができます。
- 名前を入力するときのカナ文字/英字の各モードでの入力キーは以下の通りです。

ボタン	カナ文字モード	英字モード
1	アイウエオ 1 アイウエオ	-・ [] (空白) 1
2	カキクケコ 2	A B C 2 a b c
3	サシスセソ 3	D E F 3 d e f
4	タチツテト 4 ッ	G H I 4 g h i
5	ナニヌネノ 5	J K L 5 j k l
6	ハヒフハホ 6	M N O 6 m n o
7	マミムメモ 7	P R S 7 p r s
8	ヤユヨ 8 ャュョ	T U V 8 t u v
9	ワリルレロ 9	W X Y 9 w x y
0	ワフン ° - (空白) 0	Q Z O q z
*	カーソルを左に	カーソルを左に
#	カーソルを右に	カーソルを右に
[保留]	英字モードにシフト	カナ文字モードにシフト
[機能] 2回	1文字キャンセル	1文字キャンセル
[機能] 2秒	全文字キャンセル	全文字キャンセル

登録されたデータの変更

1 変更したいデータを電話帳検索を行ってディスプレイに表示します。

- 50音順検索および先頭文字検索の場合の表示
- 電話帳番号検索の場合の表示

Y 11 100%
スス°キ
0 1 2 3 4 5 6 7

Y 11 100%
No01
0 1 2 3 4 5 6 7

2 (登録) ボタンを押します。

Y 11 100%
No01 ナマイ?ア
スス°キ

3 (#) ボタンか (*) ボタンを押して修正又は削除したい文字にカーソルを移動し、(機能) ボタンを2回押して削除するか変更する名前を入力します。

- 名前の変更がない場合は手順4の操作を行ってください。ダイヤルの変更ができます。

Y 11 100%
No01 ナマイ?
イワサキ

4 (電話帳) ボタンを押します。

Y 11 100%
No01 タ° イアル?
0 1 2 3 4 5 6 7

5 変更する電話番号をはじめの桁から入力します。

- 電話番号の変更がない場合は手順6の操作を行ってください。

Y 11 100%
No01 タ° イアル?
0 3 3 3 3 4 1 1 1 1

6 (登録) ボタンを押します。

- ピピという音がして変更した内容が登録され、待ち受け状態に戻ります。

Y 11 100%
トウロクシマシタ
ノコリ 99ケン

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーバモードについて

6 さらに便利に使うには

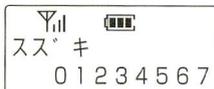
7 ご参考に

6 各モード共通のさらに便利な使い方

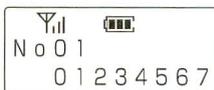
登録されたデータの削除

- 1 削除したいデータを電話帳検索を行ってディスプレイに表示します。

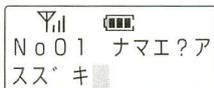
- 50音順検索および先頭文字検索の場合の表示



- 電話帳番号検索の場合の表示



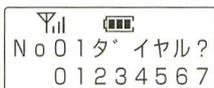
- 2 (登録) ボタンを押します。



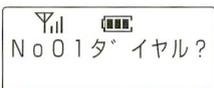
- 3 (機能) ボタンを2秒間押し続けて登録されている名前を削除します。



- 4 (電話帳) ボタンを押します。



- 5 (機能) ボタンを2秒間押し続けて登録されているダイヤルを削除します。



- 6 (登録) ボタンを押します。

- ピピという音がして内容が削除され、待ち受け状態に戻ります。



Note



●名前とダイヤルのどちらか一方でも内容が残っている場合には削除されません。

登録されている全データの消去

- 1 待ち受け状態で **登録** ボタンを繰り返し押し、「データ消去」を表示させます。

- 2 **0** ボタンを押します。

- ・暗証番号が登録されていないときはピピピピという警報音が鳴り、電話帳クリアをすることはできません。

- 3 登録されている暗証番号4桁をダイヤルします。

- 4 電話帳に登録されている全データを消去するときは **1** ボタン、中止するときは **0** ボタンを押します。

- 5 **登録** ボタンを押します。

- ・登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

消去した場合

中止した場合

- ・登録されている暗証番号と違うときには警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出て待ち受け状態になります。このときは、もう一度ははじめからやり直してください。

Note

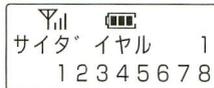
- **登録** ボタンを押して表示する内容はデータ設定で変更できます。
<いろいろな機能を設定する>…(→69ページ)

6 各モード共通のさらに便利な使い方

前に電話をかけた相手に再び電話をかける

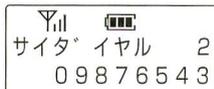
以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[再送]の機能を設定することが必要です。

- 1 待ち受け状態で、**再送** ボタンを押します。



- 2 ***** ボタンか **#** ボタンを押してかけたい相手の電話番号を捜します。

•再ダイヤルデータは最大5件分登録されます。



- 3 **通話** ボタンを押します。

•表示されている電話番号がダイヤルされます。



- 4 相手が応答したら通話ができます。

ワンタッチボタンでかける

ワンタッチボタン機能は、20桁のダイヤルを登録することができ、ワンタッチ操作で電話をかけることができます。

以下の機能を利用するには、ファンクションボタンに[ワンタッチ]の機能と[登録]の機能をそれぞれ設定することが必要です。

ワンタッチボタンで電話をかける

- 1 待ち受け状態から **ワンタッチ** ボタンを押します。



- 2 相手が応答したら、通話できます。

ちょっと一言!

- 構内モードで局線にかける場合は、相手の電話番号の前に局線アクセス番号または局線グループアクセス番号を登録しておく必要があります。

電話番号の登録/変更

- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを押します。



- 2 電話番号を登録/変更する **ワンタッチ** ボタンを押します。

- すでに電話番号が登録されている場合はその内容が表示されます。



- 3 登録/変更する電話番号をはじめの桁から入力します。



- 4 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



6 各モード共通のさらに便利な使い方

ちょっと一言!

- ワンタッチダイヤルにはポーズおよび各種機能ボタンを登録することができます。
 - ポーズの登録は(保留)ボタンに続けてポーズ時間を秒単位の数字1桁(1~9)で入力します。この場合、ファンクションボタンに[保留]の機能を設定することが必要です。
 - ポーズ時間は1つのポーズで1~9秒です。それ以上のポーズ時間を必要とするときは続けて複数のポーズを登録してください。
 - ワンタッチボタンを押すだけで電話をかけるには相手の電話番号の後に(通話)ボタンを登録しておく必要があります。

登録した電話番号の削除

- 1 待ち受け状態で、(登録)ボタンを押します。



トウロク

- 2 電話番号を削除するワンタッチボタンを押します。

- 登録されている電話番号が表示されます。



ワンタッチ1
5678912

- 3 (機能)ボタンを2秒以上押します。

- 表示されていた電話番号が消えます。



ワンタッチ1

- 4 (登録)ボタンを押します。

- 削除が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



トウロクシマシタ

誤操作の防止(キーロック)

電話機を持ち歩くときなどに間違えてボタンを押してしまわないようにするにはキーロックを設定すると便利です。

以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

キーロックの設定

1 キーロックが設定されていない状態で

登録 ボタンを2秒以上押し続けます。

- ディスプレイに🔒マークが点灯します。
- 🔒マークの表示はキーロック状態にあるときは常時点灯しています。
- 設定が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



キーロックの解除

1 キーロックが設定されている状態で

登録 ボタンを2秒以上押し続けます。

- ディスプレイの🔒マークが消えて、キーロックが解除されます。ただし、ダイヤルロックが設定されている場合は🔒マークは点灯したままです。
- 設定が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



ちよつと一言!

- キーロックの設定は電源を切ると解除されます。
- キーロック中に電話がかかってくるときは応答して通話することができます。
 1. キーロック中の電話機に電話がかかってくるときは(通話)ボタンを2秒以上押し続けます。
 2. 一時的にキーロックが解除されて電話を受けることができます。
 3. (切)ボタンを押して電話を切ると、再びキーロック状態に戻ります。

Note



- キーロック中にボタンを押すと、ディスプレイに「キーロック」と一定時間表示されます。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

暗証番号の登録／変更

ダイヤルロックや電話帳ロックを設定／解除するために必要な暗証番号(4桁)を登録します。

以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

暗証番号の登録

- 1 待ち受け状態で(登録)ボタンを繰り返し押し、**「アンショウNo」**を表示させます。

 
アンショウNo
0:セッテイ

- 2 **0** ボタンを押します。

 
アンショウNo
シンテ^oータ

- 3 暗証番号4桁(0000～9999)を入力します。

【例】暗証番号として1234を登録するとき

 
アンショウNo
シンテ^oータ1234

- 4 もう一度同じ暗証番号(0000～9999)を入力します。

 
アンショウカクニン
シンテ^oータ1234

- 5 (登録)ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

 
トウロクシマシタ

- 前に押した番号と違っているときは、ピピピピという警報音が鳴りますので、手順2からやり直してください。

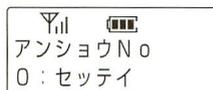
 
アンショウNo
ガ^oチガ^oイマス

Note

- (登録)ボタンを押して表示する内容はデータ設定で変更できます。
＜いろいろな機能を設定する＞…(→69ページ)
- 暗証番号は電源を切っても消えません。
- 暗証番号の登録操作中に電話がかかってくると登録は自動的に中止されて、着信の表示になります。このときは通話が終わってから再び登録操作を行ってください。

暗証番号の変更

- 1 待ち受け状態で **登録** ボタンを繰り返し押し、**「アンショウNo」**を表示させます。



- 2 **0** ボタンを押します。



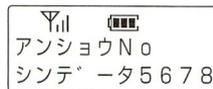
- 3 登録されている暗証番号4桁をダイヤルします。



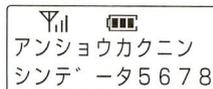
- 登録されている暗証番号と違うときにはピピピピという警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出たあと待ち受け状態になります。このときはもう一度はじめからやり直してください。

- 4 新しい暗証番号4桁(0000~9999)を入力します。

【例】新しい暗証番号として5678を登録するとき

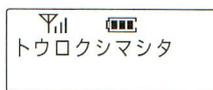


- 5 もう一度新しい暗証番号(0000~9999)を入力します。



- 6 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



- 前に押した暗証番号と違っているときにはピピピピという警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出たあと待ち受け状態になります。このときはもう一度はじめからやり直してください。



6 各モード共通のさらに便利な使い方

Note

- **登録** ボタンを押して表示する内容はデータ設定で変更できます。
 <いろいろな機能を設定する>…(→69ページ)
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要なので、メモを取っておくなどして忘れないように気をつけてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 暗証番号の削除はできません。

電話をかけられないようにする(ダイヤルロック)

あらかじめダイヤルロックを設定しておきますと、他の人に電話をかけられないようにすることができます。ダイヤルロックを設定するにはあらかじめ暗証番号の登録が必要です。<暗証番号の登録>…(→62ページ)

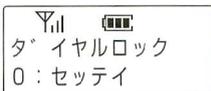
以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

ダイヤルロックを設定すると…

- 構内モード、公衆モードおよびトランシーバモードの各モードでは電話をかけることができません。(110番、119番以外)
- 電話を受けることはできます。
- 電源を入れたり切ったりすることはできます。
- キーロック以外の登録操作は行えません。

ダイヤルロックの設定

1 待ち受け状態で **登録** ボタンを繰り返し押し、**「ダイヤルロック」**を表示させます。



2 **0** ボタンを押します。



- ・ 暗証番号が登録されていないときはピピピピピという警報音が鳴り、ダイヤルロックを設定することはできません。



3 登録されている暗証番号4桁をダイヤルします。



4 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。
- ディスプレイに🔒マークが点灯します。
- 🔒マークの表示はダイヤルロック状態にあるときは常時点灯しています。

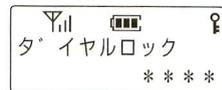


- 登録されている暗証番号と違うときには警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出て待ち受け状態になります。このときはもう一度はじめからやり直してください。



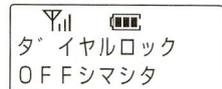
ダイヤルロックの解除

1 待ち受け状態で登録されている暗証番号4桁をダイヤルします。



2 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。
- 暗証番号があてればディスプレイの🔒マークが消えてダイヤルロックが解除されます。



- 登録されている暗証番号と違うときには警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出て待ち受け状態になります。このときはもう一度はじめからやり直してください。



1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 トランシーバーについて

6 さらに便利は利

7 ご参考に

ちよつと言!

●ダイヤルロックの設定／解除を途中でやめたいときには、(切)ボタンを押してください。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

Note



- ダイヤルロック中に無効なボタンを押すと、ディスプレイに「ダイヤルロック」と一定時間表示され、ピピピピという警告音が鳴ります。
- 公衆モードのときはダイヤルロック中でも警察(110)、消防(119)にかけることができます。ダイヤルロック中にダイヤルを押すと「***」と表示されますが、**通話**ボタンを押すとディスプレイには「110」または「119」と表示されます。
- ダイヤルロックの設定は、電源を切っても解除されません。
- キーロックとダイヤルロックが両方とも設定されているときは、キーロックを解除したあとでダイヤルロックを解除してください。
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するときに必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気をつけてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 登録**ボタンを押して表示する内容はデータ設定で変更できます。
 <いろいろな機能を設定する>…(→69ページ)

電話帳を開けないようにする(電話帳ロック)

あらかじめ電話帳ロックを設定しておきますと、他の人に電話帳を開かれないようにすることができます。電話帳ロックを設定するにはあらかじめ暗証番号の登録が必要です。<暗証番号の登録>…(→62ページ)

以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

電話帳ロックを設定すると…

- 構内モード、公衆モードおよびトランシーバモードの各モードで電話帳を開くことができなくなります。
- 電話をかけたり、受けることはできます。
- 電源を入れたり切ったりすることはできます。

- 1 待ち受け状態で**登録**ボタンを繰り返し押し、**「デ ンワチョウロック」**を表示させます。



- 2 **0**ボタンを押します。



- 暗証番号が登録されていないときはピピピピという警告音が鳴り、電話帳ロックを設定することはできません。



3 登録されている暗証番号4桁をダイヤルします。



- 登録されている暗証番号と違うときには警告音が鳴り、ディスプレイに表示が出て待ち受け状態になります。このときはもう一度はじめからやり直してください。

4 電話帳ロックを設定するときは(1)ボタン、解除するときは(0)ボタンを押します。



5 (登録)ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

設定した場合



解除した場合



ちょっと一言!

- 電話帳ロックの設定/解除を途中でやめたいときには、(切)ボタンを押してください。

Note

- 電話帳ロック中に(電話帳)ボタンを押すと、ディスプレイに「デ'ンワ'チョウ'ロック」と一定時間表示されます。
- 電話帳ロックの設定は電源を切っても解除されません。
- キーロックまたはダイヤルロックと電話帳ロックが両方とも設定されているときは、キーロックまたはダイヤルロックを解除してから電話帳ロックを解除してください。
- 登録した暗証番号は、ダイヤルロックや電話帳ロックを解除するとき必要ですので、メモを取っておくなどして忘れないように気をつけてください。万一、登録した暗証番号を忘れてしまったときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- (登録)ボタンを押して表示する内容はデータ設定で変更できます。
 <いろいろな機能を設定する>…(→69ページ)

6 各モード共通のさらに便利な使い方

32Kデータ通信

32Kデータ通信用の市販アダプタなどを介してパソコンやPDA(携帯情報端末)のデータ通信が利用できます。

- PIAFS(PIHSインターネットアクセスフォーラム)準拠の伝送方式を採用したデータ通信がご利用いただけます。
- 発信や着信の応答は、パソコンやPDAで操作します。操作の詳細や設定については32Kデータ通信用アダプタなどの取扱説明書をご覧ください。

1 32Kデータ通信用アダプタなどを利用してパソコンなどと電話機のデータコネクタを接続ケーブルで接続します。

- ・接続ケーブルのプラグは十分に奥まで差し込んでください。

2 パソコン等を使って32Kアダプタ(データカード)等の設定を行います。

3 本電話機の32Kデータ通信の設定が自動的に行われます。

- ・32Kデータ通信の設定が完了すると、「ビピ」と鳴り、約2秒間[DATAツウシンOK]と表示されたあと、元の状態に戻ります。

ちよつと一言!

- 接続ケーブルを接続したままでも、通常の音声通話は可能です。

Note

- 32Kデータ通信の発信、着信および通信中は、(切)ボタン以外の電話機での操作はすべて無効となります。
- パソコンでの操作以外に、この電話機の(切)ボタンを押しても通信を終了することができます。
- ダイヤルロックが設定されているときは、発信できません。32Kデータ通信の発信をするときは、あらかじめダイヤルロックを解除してからパソコンやPDAを操作してください。

いろいろな機能を設定する

ご使用方法にあわせて、電話機のいろいろな機能を設定することができます。以下の機能を利用するにはファンクションボタンに[登録]の機能を設定することが必要です。

- (登録) ボタンを押したときに表示される順番は、<登録ボタン>でできる登録操作一覧>…(→76, 77ページ)でご確認ください。
- 操作を途中でやめたいときは(切) ボタンを押してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。
- 登録操作中に電話がかかってくると登録は無効となり、着信音が鳴ります。通話が終わってからもう一度最初からやり直してください。
- (登録) ボタンを押したときの表示はデータ設定で変更できます。詳しくはお買い求めの販売店におたずねください。

ちよつと言!

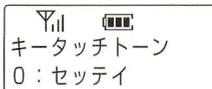
- お買い求め時の各種設定は以下の通りです。

機能	(登録)ボタン 押下時の表示	設定内容
自番号表示	ON	なし
キータッチトーン	OFF	ON
エニーキー応答	OFF	OFF
モデム通信	OFF	OFF
サブアドレス通知	OFF	OFF
ダイヤルロック	ON	なし
電話帳ロック	OFF	なし
電話帳クリア	OFF	
暗証番号登録	OFF	OFF
システム手動切替	ON	自動
自営圏外通知	OFF	OFF
着信鳴音種別選択	OFF	局線着信音 バターン1 PBX/CES着信音 バターン2 内線着信音 バターン3 公衆着信音 バターン4 トランシーバ着信音 バターン5
公衆圏内通知	OFF	OFF
公衆・電話番号通知	OFF	OFF
公衆モード時ディスプレイ表示	OFF	なし
トランシーバ番号設定	OFF	なし
使用者名表示	OFF	なし

6 各モード共通のさらに便利な使い方

操作するときの音を消す(キータッチトーン)

- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを繰り返し押し、「キータッチトーン」を表示させます。



- 2 **0** ボタンを押します。



- 3 音が出るようにしたいときは **1** ボタンを、出ないようにするときは **0** ボタンを押します。

- 4 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

- 音を出したい場合

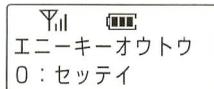


- 音を消したい場合

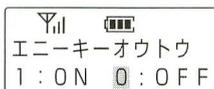


ダイヤルを押すだけで着信に应答する(エニーキー応答)

- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを繰り返し押し、「エニーキーアウトウ」を表示させます。



- 2 **0** ボタンを押します。



- 3 エニーキー応答を設定するときは **1** ボタンを、解除するときは **0** ボタンを押します。

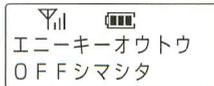
- 4 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

- 設定した場合



- 解除した場合



ちよつと言!

- エニーキー応答を設定すると、電話がかかってきたとき **0** ~ **9**、*****、**#** を押しても、電話にでることができます。

Note

- キーロック中にエニーキー応答はできません。キーロック中に着信应答するには **通話** ボタンを2秒押し続けます。

サブアドレスを通知する

- 1 待ち受け状態で、**(登録)** ボタンを繰り返し押し、「サブ アドレス」を表示させます。



 サブ アドレス
 0 : セッテイ

- 2 **(0)** ボタンを押します。



 サブ アドレス
 1 : ON 0 : OFF

- 3 サブアドレスを通知するときは **(1)** ボタンを、通知しないときは **(0)** ボタンを押します。

- 4 **(登録)** ボタンを押します。

• 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

• サブアドレスを通知したい場合



 サブ アドレス
 ONシマシタ

• 通知したくない場合



 サブ アドレス
 OFFシマシタ

ちよつと言!

- ISDNサブアドレスを通知するように設定すると、PHSサービスを利用してISDN端末に電話をかけるときに、電話番号とサブアドレスの間に **(*)** ボタンをダイヤルすることにより、サブアドレスを指定することができます。

システム手動選択

- 1 待ち受け状態で、**(登録)** ボタンを繰り返し押し、「システムセンタク」を表示させます。



 システムセンタク
 0 : セッテイ

- 2 **(0)** ボタンを押します。



 システム : 0
 シフトウ

- 3 自動的にシステムを選択するときは **(0)** を押し、それ以外の場合はシステムの番号を押します。



 システム : 1
 システム 1

- 4 **(登録)** ボタンを押します。

• 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

6 各モード共通のさらに便利な使い方

自営圏外通知

- 1 待ち受け状態で、**(登録)** ボタンを繰り返し押し、「ジ エイケンカ イ」を表示させます。

▽ 〇〇〇
ジ エイケンカ イ
0 : セッテイ

- 2 **(0)** ボタンを押します。

▽ 〇〇〇
ジ エイケンカ イ
1 : ON 0 : OFF

- 3 自営圏外通知を設定するときは **(1)** ボタンを、解除するときは **(0)** ボタンを押します。

- 4 **(登録)** ボタンを押します。
 - 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

• 設定した場合

▽ 〇〇〇
ジ エイケンカ イ
ON シマシタ

• 解除した場合

▽ 〇〇〇
ジ エイケンカ イ
OFF シマシタ

ちよっと一言!

- 自営圏外通知を設定すると、構内モードで圏外へ移動したときにピー..ピー..ピー..という警告音で知らせることができます。

着信の種類毎に音をかえる

- 1 待ち受け状態で、**(登録)** ボタンを繰り返し押し、「メイオンセンタク」を表示させます。

▽ 〇〇〇
メイオンセンタク
0 : セッテイ

- 2 **(0)** ボタンを押します。

▽ 〇〇〇
メイオンセンタク
キョクセン

- 3 **(*)** ボタンか **(#)** ボタンで着信の種類を選び、**(登録)** ボタンを押します。

▽ 〇〇〇
メイオンセンタク
ハ ターン 1

- 4 **(*)** ボタンか **(#)** ボタンで音の種類を選び、**(登録)** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了すると設定した着信音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

▽ 〇〇〇
メイオンセンタク
セッテイシマシタ

ちよっと一言!

- 設定できる着信の種類は以下の通りです。
局線着信
PBX/CES着信
内線着信
公衆着信
トランシーバ着信
- 選択できる着信パターンは6種類です。

公衆圏内通知

- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを繰り返し押し、「コウシュウケンナイ」を表示させます。

 
コウシュウケンナイ
0 : セッテイ

- 2 **0** ボタンを押します。

 
コウシュウケンナイ
1 : ON 0 : OFF

- 3 公衆圏内通知を設定するときは **1** ボタンを、解除するときは **0** ボタンを押します。

- 4 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

• 設定した場合

 
コウシュウケンナイ
ONシマシタ

• 解除した場合

 
コウシュウケンナイ
OFFシマシタ

ちょっと一言!

- 公衆圏内通知を設定すると、公衆モード時にPHSサービスエリア内に入ったことをピピピピピという音が3回鳴ってお知らせします。

Note

- 公衆圏内の通知は1回のみ行います。新たに通知を行いたいときはもう一度設定を行ってください。

公衆・電話番号通知

- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを繰り返し押し、「ハンゴウツウチ」を表示させます。

 
ハンゴウツウチ
0 : セッテイ

- 2 **0** ボタンを押します。

 
ハンゴウツウチ
1 : ON 0 : OFF

- 3 自分の電話番号を相手に通知するときは **1** ボタンを、通知しないときは **0** ボタンを押します。

- 4 **登録** ボタンを押します。

- 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

• 通知する場合

 
ハンゴウツウチ
ONシマシタ

• 解除した場合

 
ハンゴウツウチ
OFFシマシタ

ちょっと一言!

- 電話番号通知を設定すると、PHSサービスを利用して電話をかけたときに、相手方のPHS電話機などのディスプレイにこちらのPHSサービスの電話番号を表示させることができます。

Note

- 別途PHS事業者との契約が必要な場合があります。

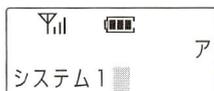
6 各モード共通のさらに便利な使い方

公衆モード時ディスプレイ表示

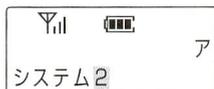
- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを繰り返し押し、「コウシュウヒョウジ」を表示させます。



- 2 **0** ボタンを押します。



- 3 現在登録されている名称が表示されているので、***** ボタンか **#** ボタンでカーソルを移動し、新しい名称を入力してください。文字の入力のしかたについては53ページをご覧ください。



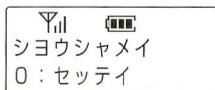
- 4 **登録** ボタンを押します。
 - 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

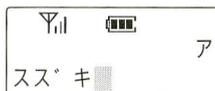
- 公衆モードのとき、待ち受け状態のディスプレイの上段に登録された名称が表示されます。

使用者名表示

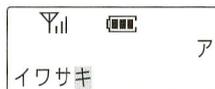
- 1 待ち受け状態で、**登録** ボタンを繰り返し押し、「シヨウシャメイ」を表示させます。



- 2 **0** ボタンを押します。



- 3 現在登録されている名称が表示されているので、***** ボタンか **#** ボタンでカーソルを移動し、新しい名称を入力してください。文字の入力のしかたについては53ページをご覧ください。



- 4 **登録** ボタンを押します。
 - 登録が正常に終了するとピピという確認音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。

ちょっと一言!

- 待ち受け状態のとき、ディスプレイの下段に登録された名称が表示されます。

Note

- 構内モードのときは接続されている主装置の表示機能が優先されます。

機能 ボタンによる操作一覧

ファンクションボタンに設定できる機能を(機能)ボタンを使用して利用することができます。お買い求め時に(機能)ボタンで利用できる機能は次のとおりです。

ボタン	機能	概要	参照ページ
(機能) + 1	保留	電話を保留したり、保留を解除するときに使います。また、電話帳ダイヤルで登録するとき、入力モードを変更するためにも使います。	28, 53
(機能) + 2	転送	電話を転送するときに使います。	29
(機能) + 3	フック	上位交換機または外線にフッキング信号を送り出すときに使います。	40
(機能) + 4	再送	再ダイヤルをするときに使います。	58
(機能) + 5	不在転送	不在転送／話中転送／未応答転送の設定や解除に使います。	35
(機能) + 6	ゾーン	構内モードで基地局を切り替えるときに使います。	38
(機能) + 7	キャッチ	キャッチホンでお話中にかかってきた電話に応答するときに使います。	32
(機能) + 8	電話帳	電話帳ダイヤルで発信／登録するときに使います。	51
(機能) + 9	メッセージ読出し	メッセージ表示の内容を読み出すときに使います。	30
(機能) + 0	登録	各種の機能を選択するときに使います。	69
(機能) + #	キー表示	ファンクションボタンに設定された機能を確認するために使います。	22

1 はじめに

2 準備

3 構内モード

4 公衆モード

5 トランシーバモード

6 さらに便利

7 ご参考に

7 登録ボタンでできる登録操作一覧

登録操作は(登録)ボタンを押し、登録番号をダイヤルしてから行いますが、(登録)ボタンを押した後、(*)ボタンや(#)ボタンを繰り返し押しして目的のディスプレイを表示させて行うこともできます。

ディスプレイは次の順番で表示されます。表示する項目はデータ設定で変更できます。

システム
0: セッテイ

↓ (登録)ボタン

トウロック
0: セッテイ

↓ ①

シ^ン ハ^ン コ^ウ
0: ヒョウシ^ン

↓ 電話番号の確認をします。

キータッチトーン
0: セッテイ

↓ キータッチトーンを設定/解除します。

エニーキーアウトウ
0: セッテイ

↓ エニーキー応答を設定/解除します。

モデムツウシン
0: セッテイ

↓ モデム通信を設定/解除します。

サブ^{アド}レス
0: セッテイ

↓ ISDNサブアドレス通知を設定/解除します。

ダイヤルロック
0: セッテイ

ダイヤルロックを設定/解除します。

デ^ンワ^チョウ^ロック
0: セッテイ

↓ 電話帳ロックを設定/解除します。

デ^ンワ^チユウ^クリア
0: セッテイ

↓ 電話帳をクリアします。

アンショウNo
0: セッテイ

↓ 暗証番号を登録します。

システム センタク
0: セッテイ

↓ システムを手動で切り替えます。

シ^ン エイケンカ^イ
0: セッテイ

↓ 自営圏外通知を設定/解除します。

メイオンセンタク
0: セッテイ

↓ 着信音の鳴音を切替えます。

コウシュウケンナイ
0: セッテイ

↓ 公衆圏内通知を設定/解除します。

ハ^ンコ^ウツウ^チ
0: セッテイ

公衆・電話番号通知を設定します。

ちょっと一言!

登録 ボタンを押した後の項目の選択は…

- **#** ボタンは↓方向に表示します。
- ***** ボタンは↓とは逆の順番に表示します。
- **登録** ボタンを繰り返すと、↓方向に表示します。

登録番号をダイヤルすると次の登録機能が選択できます。

登録番号	登録機能
0	自番号表示
1 2	キータッチトーン
1 4	エニーキー応答
1 5	モデム通信
1 6	サブアドレス通知
2 1	ダイヤルロック
2 2	電話帳ロック
2 3	電話帳クリア
3	暗証番号登録
4 1	システム手動選択
4 2	自営圏外通知
4 3	着信鳴音種別選択
5 1	公衆圏内通知*1
5 2	公衆・電話番号通知
5 3	公衆モード時ディスプレイ表示
6	トランシーバ番号設定
7	使用者名表示

*1：電源を切るか動作モードを切替えると設定が解除されます。

→  
 コウシュウヒョウシ*
 0：セッテイ

↓ 公衆モード時ディスプレイ表示を設定します。

 
 トランシーバ* No
 0：セッテイ

↓ トランシーバ番号を設定します。

 
 ショウシャメイ
 0：セッテイ

↓ 使用者名を設定します。

①へ戻る

7 電池の残量がなくなったときは

「ピッ ピッ」という警報音が鳴り、ディスプレイのマークが点滅します。



このようなときは、通話中ならばすみやかに通話を終わらせて電話機を充電するか、完全に充電された電池パックと交換して下さい。

ちょっと一言!

- 充電中でもご使用になれます。
- ご使用になる前に電池残量を確認してください。＜電池残量の確認＞…(→22ページ)
- 通話中に警報音が鳴ってもそのまま通話を続けると、約20秒で電話が切れてしまいますのでご注意ください。(電池の状態や周囲の温度などによっては、それよりも短い時間で切れてしまうこともあります)
- 電池の状態や周囲の温度などの影響で、ディスプレイのマークでまだ残っているように見えても電池切れの警報が鳴ることがあります。

7 通話できる範囲から外れたときは

待ち受け中や電話をかけようとしたとき

- 通話できる範囲から外れるとディスプレイの▽マークが消えます。

このようなときは▽マークが表示されるまで移動して、かけ直してください。

通話中のとき

- 通話できる範囲をはずれると、ディスプレイの▽（アンテナマーク）が消えて、「ピッピッ」という警報音が鳴ります。または相手の声が聞こえなくなります。
- このようなときは、警報音が鳴らなくなる所（電波の強い場所）まで移動してください。

ちょっと一言!

- 圏外ではないのに電話をかけようとしても「ツー ツー」という音がして電話をかけられないのは…
 - 他のコードレス電話機が基地局のチャンネルをすべて使ってしまった状態で、空いているチャンネルが無いときには「ツー ツー」という音が聞こえます。このようなときは、しばらく待ってからかけ直してください。
 - 電波が強い場所でも電話機が自動的に構内基地局や公衆基地局などに登録動作を行っているために「ツー ツー」という音が聞こえて電話がかからない場合があります。このようなときも、しばらく待ってからかけ直してください。

Note



- 通話中に圏外になったときは、警報音が鳴った後、電話が切れますのでご注意ください。
- コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によって通話できる範囲が狭くなる場合があります。
- 警報音が鳴っているときは通話することができません。

1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 トラランシーバモードについて

6 さらに便利には

7 ご参考に

7 故障かな？と思ったら

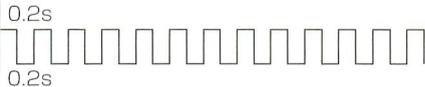
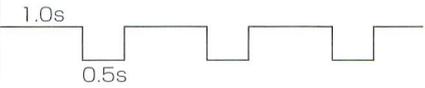
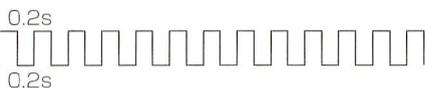
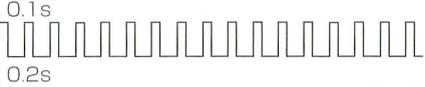
故障かな？と思ったら、修理に出す前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源ボタンを1秒以上押ししていない	電源ボタンは1秒以上押ししてください	15
	電池パックが入っていない	電池パックを正しく装着してください	15
	バッテリー切れになっている	電話機を充電するか、完全に充電された電池パックと交換してください	16, 77
	電池パックの端子や本体側の端子が汚れている	乾いた布などで清掃してください	—
電話をかけられない	基地局のサービスエリア外にいる	サービスエリア内に移動してください	14, 78
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	18~20
	電話番号が正しく入力されていない	正しい電話番号でかけ直してください	—
	回線がいっぱいになっている	少しまってからかけ直してください	—
	高速で移動しながら電話をしている	この電話機は乗り物などに乗って高速で移動しているときは使用できません 停止してかけ直してみてください	7
電話帳機能が使えない	電話帳ロックが設定されている	電話帳ロックを解除してください	66
通話が突然切れた	サービスエリア外に出てしまった	サービスエリア内に戻ってかけ直してください	14, 78
	電波の届かない場所に入った	電波の届く場所に移動してかけ直してください	14, 78
	電池が残り少なくなった	電話機を充電するか、完全に充電された電池パックと交換してください	16, 77
通話に雑音が入ったり通話が途切れる	PHSの公衆基地局や構内用の基地局から離れすぎている	基地局に近づいてお話ししてください	14, 78
	サービスエリア内でも電波の弱いところにいる	電波の強いところに移動してお話ししてください	6, 14, 78
	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある	それらに機器からできるだけ離れてお話ししてください	8
	PHSの公衆基地局や構内用の基地局との間に障害物がある	できるだけ障害がないところへ移動してお話ししてください	6, 7
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	49
	耳がきちんと受話口に当たっていない	耳をきちんと受話口に当てるようにしてください	—
通話中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を下げてみてください	49

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
無線機の音が混信して聞こえる	近くに無線機などがある	場所を変えてお話ししてみてください	8
通話中にピーピーという警報音が聞こえる	電池の残量が少なくなっている	電池警報です 電話機を充電するか、完全に充電された電池パックに交換してください 電池パックを交換するときは一旦通話が切れます	16, 77
	基地局のサービスエリア外に出ようとしている	圏外警報です サービスエリア内に戻ってお話ししてください	78
	トランシーバモードで3分間以上通話し続けている	3分ごとの切り替え音です 故障ではありません	46
着信音が鳴らない	不在転送が設定されている	不在転送を解除してください	35～38
	着信拒否が設定されている	着信拒否を解除してください	34
	着信音量をOFFに設定している	着信音量設定を小中大のいずれかに替えてください	50
	モード設定が異なっている	正しいモードに切り替えてください	18～20
	電池残量が少なくなっている	電話機を充電してください	16, 77
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	50
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しすぎている	着信音量を下げてください	50
ボタンを押しても操作できない	キーロックがかかっている	キーロックを解除してください	61
	ダイヤルロックがかかっている	ダイヤルロックを解除してください	64～65
	電池残量が少なくなっている	電話機を充電するか、完全に充電された電池パックに交換してください	16, 77
充電器においても充電ランプが点灯しない	充電器の電源アダプタやACプラグがはずれている	電源アダプタやACプラグをきちんと差し込んでください	16, 17
	充電端子が汚れている	乾いた布などで清掃してください	9, 17
	充電器に正しく置かれていない	正しく充電器に置いてください	16
	充電器の電源アダプタコードやACコードが傷んでいる	お買い求めの販売店にご相談ください	4
3時間以上充電してもすぐに使えなくなる	充電器に正しく置かれていない	正しく充電器に置いてください	16, 17
	電池が消耗している	充電器の取扱説明書にしたがってリフレッシュを行ってみてください それでも状態が変わらないときは新しい電池パックに交換してください	17
さわるとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	17

7 電話機から出る音について

受話口から出る音

種別	鳴音パターン		備考
	周波数	パターン	
内線ダイヤル トーン	0.4kHz		ダイヤルができる ときに鳴ります
ビジートーン	0.4kHz		相手が通話中だった りチャンネルビジーの ときに鳴ります
相手呼出中音	432/480 Hz 16Hz ワンプル (構内モード)		相手を呼び出してい るときに鳴ります
	400/500 Hz 16Hz ワンプル (トランシー バモード)		
ゾーン切替音	0.8kHz		基地局の切替を 行っているときに 鳴ります
通話休止 予告音	0.8kHz		トランシーバモード で3分に1回の通話休 止時間が近づいてい るときに鳴ります
通話休止中音	0.8kHz		トランシーバモード で3分に1回の通話休 止時間中に鳴ります
検索中音	0.4kHz		公衆モードで発信 時、相手を呼び出す までの間に鳴ります

1 はじめに

2 準備

3 構内モードについて

4 公衆モードについて

5 トランシーバモードについて

6 さらに便利に使うには

7 ご参考に

サウンドから出る音

種別	鳴音パターン		備考
	周波数	パターン	
未接続警報音	2.1kHz	0.2s 	基地局との接続がうまくできないときに鳴ります
圏外警報音	2.615 kHz	1.0s 1.0s 3回 	通話中に圏外になったときに鳴ります
電池残量警報音	2.615 kHz	0.1s 1.4s 	電池残量が規定値以下になったときに鳴ります
確認音	2.1kHz	0.05s 0.5s 0.05s 	登録操作がうまくできたときに鳴ります
警報音	2.1kHz	0.05s 0.5s 0.05s 	登録操作がうまくできなかったときに鳴ります
内線着信音	2.615/ 2.1kHz	0.05s 0.25s 1.75s 	内線電話機からの呼び出しのときに鳴ります
外線着信音	2.615/ 2.1kHz	0.05s 0.05s 2.0s 	外線からの呼び出しおよび公衆モードでの呼び出しのときに鳴ります
システム着信音	2.615/ 2.1kHz	0.05s 0.05s 1.85s 	システムからの呼び出しのときに鳴ります
トランシーバ着信音	2.615/ 2.1kHz	0.05s 0.05s 0.25s 1.25s 	トランシーバモードの呼び出しのときに鳴ります
電源投入確認音	2.1kHz	0.1s 	電源を入れたときに鳴ります
キータッチトーン	2.1kHz	0.03s 	ボタンを押したときに鳴ります

7 主な仕様

項目	仕様内容
寸法・質量	56mm (幅) x 28.5mm (奥行) x 150mm (高さ) (アンテナおよび突起部を含みます) 約 200g(電池パックを含む)
使用電源	専用ニッケル水素2次電池パック (WT-SV-TBP(L)(G)) DC 3.6V
連続通話時間	約8時間
連続待ち受け時間	約100時間
送信出力	10mW (平均)
システム方式	1.9GHz 帯デジタル方式 (TDMA/TDD 方式)

- 連続通話時間は常温での算出値です。周囲温度や電池の状態によって変わります。
- 連続待ち受け時間は、構内モードで基地局からの電波が安定している場所における算出値です。
モードが異なる場合や電波の弱い場所、電波の届かない場所では電池の消費が多いため、表中の数値とは異なります。
- 仕様および外観は、性能改善等により予告なく変更する場合があります。

本品は、外国為替及び外国貿易管理法の規定により、戦略物資（又は役務）に該当しますので、輸出する場合は、日本政府の輸出許可が必要です。

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

エリアコム事業部 〒168 東京都杉並区久我山1-7-41 ☎(03)5370-5479